



Business Report

ECHO

Vol.41
2015.4.1 -
2016.3.31

第一興商



ステークホルダーの皆様へ
TO OUR STAKEHOLDERS

東京証券取引所市場第一部へ上場市場を変更

おかげさまで、2015年12月11日、当社は東京証券取引所市場第一部へ上場市場を変更致しました。これもひとえに株主様をはじめとしたステークホルダーの皆様のご支援ご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

社会に楽しさや明るさを届け、人と人をつなぐことができる「うたと音楽」は、いつの時代も人々にとって不可欠なものです。私たちは、世の中に必要とされるものを社業とすることを幸運に思う一方で、音楽文化を未来に継承していくという重責を担っています。

「もっと音楽を世に もっとサービスを世に」という社是は、今なお風化することなく当社の進むべき方向性を示しています。そしてこれからも、カラオケを中心に社会に必要とされる商品やサービスを提供してまいります。

また、これを機に当社グループ役員をはじめ従業員一同、企業としての社会的責任をより一層自覚し、ステークホルダーの皆様そして社会からのご期待にお応えすべく精励致す所存でございます。

今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



東証一部上場までの軌跡

東京証券取引所市場第一部へ
上場市場を変更

2015

- ・日本クラウン株式会社の株式持分比率増加により子会社化
- ・株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズの全株式を取得し子会社化

2001

カラオケボックス1号店となる
「ビッグエコー二又瀬店」を福岡県に出店

1996

1995

衛星デジタル多チャンネル放送「パーフェクトTV!」(現「スカパー!」)に参画し、放送事業を開始

株式会社第一興商として
業務用カラオケ事業を開始

1988

1976

日本証券業協会に株式を店頭登録
(制度変更等を経て東京証券取引所JASDAQへ移行)

「うたと音楽」の可能性を追い続ける――。 新たな価値の創造を通じて、 さらなる成長を実現します。

代表取締役社長 **林 三郎**



広がるカラオケの事業領域 事業を通じて社会貢献を実践

日本のカラオケ市場は長年、スナックやバーなどの「ナイト市場」と「カラオケボックス市場」に支えられてきました。しかし、リーマンショック後の景気低迷や団塊世代のリタイアなどに伴い、ナイト市場は縮小傾向が続いています。カラオケボックス市場も成熟期に入りつつあり、今後大きな伸びは期待できない状況の中、急成長を続けているのが「エルダー市場」です。

当社グループは2001年に、「うたと音楽」の効用を最大限に活用して、健康維持と介護予防を支援する生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」の提供を開始し、これまで国内19,000カ所以上（2016年5月末現在）の高齢者施設等に納入しています。国内には同種の施設が10万カ所以上あり、まだまだ開拓の余地は十分にあります。このマーケットでは、カラオケが単なるエンターテインメントの道具としてではなく、健康づくりやコミュニティ形成のために役立てられており、各自治体の注目度も非常に高いものがあります。このマーケットを攻略していくことは、当社のこれからの成長を支えると同時に、事業を通じた社会貢献になると考えています。

新たな価値への飽くなき欲求 常に進化を追い求める企業文化

当社グループが業界首位の座を築くことができたのは、創業以来、「カラオケ利用者にいかに楽しんでいただくか」ということだけを一心に追いかけてきたからだと自負しています。ハードウェアにかかわる技術はもちろん、音質や映像などコンテンツそのものの魅力を高めることにも、当社グループは膨大な経営資源を投入して現在の地位を築いてきました。昨年4月に投入した業務用通信カラオケDAMのフラッグシップモデル「LIVE DAM STADIUM」は、その集大成とも呼べるもので、スタジアムライブの圧倒的な迫力と臨場感を実現するこだわりの「音」とデュアルモニター機能で「映像」による多彩な空間演出を可能にしています。

企業は進化し続けなければ継続することはできないと私は考えており、今後も決して現状に満足することなく、常に新しいもの、新しい価値を生み続けていかねばなりません。当社グループには脈々と受け継がれてきた進化を追い求める企業文化が深く根付いており、今後も新しい技術や商品を他社に先んじて送り出していくことで、圧倒的な優位を保っていけると確信しています。

マーケットそのものを活性化していくことも、トップ企業と

しての重要な役割です。例えば先ほど縮小傾向が続いているとご紹介したナイト市場ですが、一億総活躍社会でますます社会での活躍が期待される女性を取り込むことで、新たな需要を生み出すことができるのではないのでしょうか。安心・安全・明朗会計など、女性が安心して利用できる環境を整えていくことで、まだまだ活性化は可能だとみています。

業績は引き続き堅調に推移 LIVE DAM STADIUMの出荷好調

当期（2016年3月期）の連結経営成績は、売上高が前期比6.2%増の141,310百万円、営業利益が同4.5%増の19,886百万円となりました。主力の業務用カラオケ事業では、先ほどご紹介した新機種「LIVE DAM STADIUM」が過去最高の出荷を達成したほか、エルダー市場での稼働台数も堅調に増加しました。さらに、安定的な収益基盤の強化を目指して機器賃貸の出荷比重を高めることに注力した結果、機器賃貸収入や情報提供料収入も着実に伸長しました。これらの取り組みが奏功し、当事業は増収増益となりました。

カラオケ・飲食店舗事業においても、引き続き積極的な新規出店に注力したほか、ルーム内の音響・映像設備の強化、パーティーコースの充実などに努めた結果、引き続き増収を達成しました。

音楽ソフト事業は、音楽CD離れの影響からやや厳しい状況で推移しているものの、水森かおりや三山ひろしなどの演歌作品が安定した売れ行きを示すなど、明るい材料も出てきています。

うたと音楽が持つ力をさらに引き出す 社会に必要とされる「敏感な企業」でありたい

私は、世の中に必要とされるものは必ず栄え、世の中に必要とされる企業は必ず生き残ることができるかと確信しております。当社グループは、カラオケを中心とした事業活動を通じて、うたと音楽が持つ力をさらに引き出し、それを世に提供していくことで、社会に必要とされる企業としていつまでも活動し続けることを目指してまいります。そのためには、グループ全体が環境の変化に敏感であり、コンプライアンスに敏感であり、社会貢献に敏感でなければなりません。

当社グループは今後も、こうした基本精神を忘れることなく、ステークホルダーの皆様から信頼していただける企業として、長きにわたって成長を続けてまいります。

ステークホルダーの皆様におかれましては、引き続き、当社グループの活動にご期待いただくとともに、ご支援ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

当社とNTTの共同検討第2弾

コミュニケーションロボットによる
高齢者向けカラオケ支援の実証実験を開始

2015年7月より開始したNTTとの共同検討の第2弾として、当社が展開する生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」と、NTTの研究所が開発を進めるインタラクティブ技術※1等を活用した「コミュニケーションロボット」を連携させ、介護施設等における高齢者のカラオケや介護予防の取り組みを支援する実証実験を行いました。

当社では、「うたと音楽」を活用した介護予防や健康増進への取り組みを積極化しており、全国の介護施設や公民館等19,000カ所以上（2016年5月末現在）で、「DKエルダーシステム」の普及促進を図っています。

一方、NTTは、クラウドやセキュリティ、各種センサー等の先進的な研究開発成果を有し、健康・医療・介護の共通基盤を中心としたICT環境の整備による疾病予防や医療介護の効率化・質の向上を目指して、地域医療連携や地域包括ケアの実証トライアルや実導入に取り組んでまいりました。

実証実験の具体的な内容としては、「DKエルダーシステム」を利用した音楽健康セッションにおいて、「コミュニケーションロボット」がセンサー検出や音声対話によりユーザー状況にあった選曲を支援したり、参加者やスタッフとコミュニケーションを図りながら、歌や体操、クイズを組み合わせる音楽健康セッションをより充実させるといった介護予防につながる支援を行いました。また、NTTが開発を進める「R-env：連舞™」※2によって、ロボットやカラオケ機器、モニター、デジタルカメラ、バイタルセンサーなどを簡単に連携できるため、レクリエーションを楽しんだ後はそのシーンの写真を見

せ合ったり、対話内容や選曲方法等のシナリオを、目的や利用者の要介護度等に応じてスタッフが自由に追加・修正できることなどを目指します。

今回の実証実験で得られた技術的な課題をもとに、実用化に向けて研究開発を進めるとともに、2016年度中に新たなサービスの提供を目指して、ビジネス化に向けた検討を進めます。

※1 センシング技術や音声認識・合成・対話技術等と連携して人の状態や表情を理解し、ロボット等のデバイスの発話や動き等を同調させて情報を人に伝える技術。

※2 NTTサービスエボリューション研究所が開発したクラウド対応型デバイス連携制御技術。ロボット等の技術的な専門知識がなくても、クラウドに用意された機能やデバイスが持つ機能をビジュアル的につなぐだけで、簡単にアプリケーションの開発・サービス提供ができる。

新業態肉バル「ミートハウス 炉区(ロック)」
秋葉原にオープン！

飲食店舗の新業態として、ボリュームたっぷりの肉料理と豊富なワインを気軽に楽しめる「ミートハウス 炉区(ロック)」を3月に東京・秋葉原にオープンしました。

圧倒的なボリュームと高いコストパフォーマンスの肉盛り合わせをはじめとした多種多様な肉料理やワインを気軽に楽しめる肉バルです。ボリュームミーなお肉をシェアしながら、ワイン片手にわいわいと語り合えるひとときをお過ごしいただけます。

GENERATIONSのコラボルーム
全国8店舗で期間限定オープン！

札幌、東京、横浜、名古屋、大阪、福岡のビッグエコー8店舗では、「GENERATIONS from EXILE TRIBEルーム」を8月31日までの期間限定で営業しています。メンバーの姿をレイアウトした壁面など、思わず目を奪われるGENERATIONS一色のコラボルームです。オリジナル映像やメンバーのメッセージを楽しみながら、ファンの交流の場としても活用できます。

ビッグエコーでは、立地や客層、利用用途に応じた店舗づくりとサービスを展開し、さらなる集客向上を目指します。



東日本大震災から5年 継続的に地域活性化を支援

2016年3月25日に岩手県陸前高田市において行われたDKエルダーシステム寄贈式ならびに感謝状授与式の後に、陸前高田市戸羽太市長、同市市議会伊藤明彦議長と、当社林三郎代表取締役社長が対談しました。

戸羽市長 長きにわたりご支援いただいておりますことに感謝の意を表したく、今回は松の木から作った感謝状をご用意しました。当市が感謝状を差し上げますのは、私の記憶では、企業様としては初めてだと思います。

林社長 このたびは大変に貴重なものを頂戴し、光栄に存じます。私も微力ながら現在の陸前高田市の実情を伝えてまいろうと思います。

戸羽市長 ありがとうございます。被災地が踏ん張るためには、皆様の励ましがまだまだ必要です。

伊藤議長 道路や建物の建設は進み、ハードの復興は進んでいますが、人々の心の復興はまだです。御社のご支援は市民の心を潤し、コミュニケーションを図るうえで大きな効果をもたらし、好評を得ています。

林社長 2012年1月に仮設住宅へのカラオケカー派遣を始めた時、自治会長さんが涙ながらに「仮設住宅では水滴の音すら聞こえるほどで、声を出すこともためらいがちです。辺り一帯は静寂に包まれ、誰もがひっそりと暮らしています。でも、本日この仮設住宅にカラオケカーが来てくれました」とお話しされ、私どもだからこそできる支援の形があるのだと逆に勇気をいただきました。

戸羽市長 その仮設住宅で、今は格差が生まれています。経済的に苦しく、頼る人もいない方々は自分の置かれている状況に圧迫され、孤立感を感じています。

林社長 孤立感の問題は、高齢者の問題でもあります。今回寄贈致しましたDKエルダーシステムを活用した音楽健康セッションが、市内の各地域で自主的に開催されるよう支援します。また、元気な高齢者が地域サポーターとして活躍して下さるよう、「音楽健康指導士」という人材育成も併せて支援し、地域活性化につなげていただきたいと思います。

戸羽市長 「ノーマライゼーション」という言葉のいらぬいまちを目指す当市の考えと同じですね。この考えは、難しいものを求めているものではありません。障がいのある方にも、高齢者の方にも、社会における役割と尊厳を持って生きていただくことを目的としています。

高齢者の健康サポート、地域コミュニティのサポーターとなる人材育成と研究を、陸前高田モデルとして構築できればありがたいです。今後とも当市の復興にお力添えをいただきますよう、お願いします。

林社長 当社としても精一杯応援致します。



奇跡の一本松にちなんで松の木で作られた感謝状の授与式(陸前高田市の戸羽市長と林社長)

「カラオケ@DAM for Windows 10」サービス開始 “おうちカラオケ”をはじめよう！

Windows 10 向けのアプリ「カラオケ@DAM for Windows 10」を、4月よりリリースしました。友達が集まったときやひとりで練習したいときなど、いつでも気軽に“おうちカラオケ”を楽しめます。利用するには、Windows 10 搭載パソコンにアプリをダウンロードするだけ。業務用通信カラオケDAMのハイクオリティな音源と映像によるストリーミングカラオケが楽しめます。

月々わずか1,000円(税別)*で、現在12万曲近い楽曲が歌い放題、その後も毎週約200曲が追加されていくので、歌いたい曲がほぼ見つかります。タッチパネルやマウスにより快適にカラオケを操作することができ、楽曲検索、

予約確認・取消操作、ガイドボイスなどの機能も充実。さらに、テレビ番組でもおなじみの採点ゲーム「精密採点」を搭載しました。採点結果では、レーダーチャートや分析レポートが表示されるので、歌唱力アップのトレーニングにも最適です。

当アプリは今後もさまざまな機能を追加し、高品質なカラオケサービスをどこでも気軽に楽しめる環境を提供します。

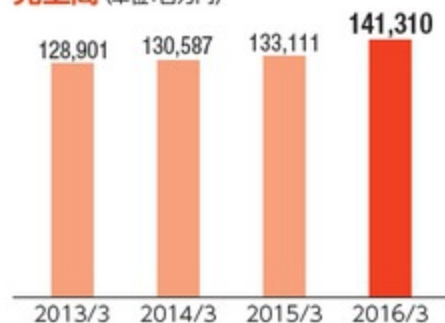


* Web版「カラオケ@DAM」を契約されている場合は、当アプリによるサービスも利用できます。

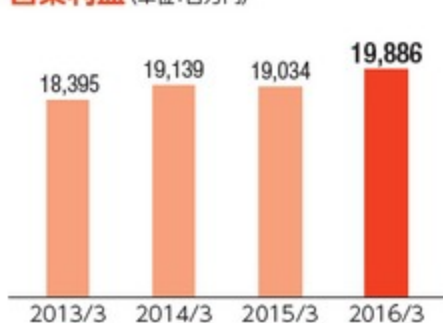
FINANCIAL HIGHLIGHTS

科目	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3
経営成績 (百万円)				
売上高	128,901	130,587	133,111	141,310
営業利益	18,395	19,139	19,034	19,886
営業利益率 (%)	14.3	14.7	14.3	14.1
経常利益	22,280	21,227	21,082	21,127
親会社株主に帰属する当期純利益	12,819	13,084	13,650	12,599
財務状況 (百万円)				
総資産	159,479	161,587	180,312	179,641
純資産	100,315	102,268	110,264	112,754
キャッシュ・フロー (百万円)				
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,482	27,298	30,264	27,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,553	△ 15,415	△ 18,459	△ 27,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 989	△ 9,458	3,672	△ 7,299
現金及び現金同等物の期末残高	41,963	44,381	60,007	52,247
1株当たりデータ (円)				
1株当たり当期純利益	209.06	219.68	235.13	218.25
1株当たり純資産	1,662.00	1,736.70	1,879.44	1,933.03
1株当たり配当金 (年間)	60.00	65.00	100.00	108.00
主要経営指標 (%)				
総資産経常利益率 (ROA)	14.8	13.2	12.3	11.7
自己資本当期純利益率 (ROE)	13.3	13.1	13.0	11.4
自己資本比率	62.2	62.6	60.5	62.0
配当性向	28.7	29.6	42.5	49.5

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



セグメント別概況



売上高 68,557 百万円
営業利益 14,145 百万円



- 2015年4月に発売した新商品「LIVE DAM STADIUM」が市場から高い評価を得られ、市場投入が好調に推移したことに加え、機器賃貸収入および情報提供料収入が着実に増加したことにより増収増益。
- 成長分野として注力しているエルダー市場についても、稼働台数が堅調に増加し、DAM稼働台数の増加に寄与。



売上高 56,759 百万円
営業利益 7,158 百万円



- 前期に出店した店舗や買収した新店の寄与もあり増収も、先行コストの増加と償却負担やのれん負担の増加の影響もあり減益。
- カラオケルームは、ルーム内の音響や映像の強化、一次会需要を取り込むパーティークースの充実やレストランルームを増設。
- 飲食店舗は、顧客満足度、サービスの向上を目指し従業員教育を強化。



売上高 9,027 百万円
営業利益 189 百万円



- 音楽配信はやや改善の兆しが見えたものの、音楽CD離れの傾向が加速するなど、事業環境は依然厳しい状況で推移。
- 水森かおりや「NHK紅白歌合戦」初出場を果たした三山ひろしなど安定した演歌作品に加えて、ソナーボケットや筋肉少女帯などの作品が貢献。



売上高 6,966 百万円
営業利益 1,517 百万円



- BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジオ光」とコンシューマー向けストリーミングカラオケサービスの拡販に努めるほか、不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移。
- 不動産賃貸収入等の増加、コスト低減効果などにより増収増益。

PICK UP! ARTIST & CONTENTS

当社グループの
アーティストや
コンテンツを
ご紹介します。

ロック

BAND-MAID

CROWN 日本クラウン株式会社

メイド服を身にまとい、ライブを「お給仕」、ファンを「ご主人様」・「お嬢様」と呼ぶメイドの世界観満載のロック・バンド。ルックスとは正反対の「ハードロック」で観る人を魅了します。Facebook上にアップされた「スリル」のミュージック・ビデオは、2週間で200万回再生を記録。日本のみならず、海外のご主人様とお嬢様にも熱狂的に受け入れられており、ワールドワイドの活躍が期待できるバンドです。



演歌・歌謡曲

水森かおり

“ご当地ソングの女王”として、昨年歌手生活20周年を迎えた水森かおり。今年3月に発売した新編が舞台の「越後水原」で通算15作品をリリースしました。また、「オリコン週間CDシングルランキング」では13作品連続初登場ベスト10入りを果たし、自己記録を更新しました。今年も「NHK紅白歌合戦」の出場を目指し、年間を通してコンサートを中心に積極的に活動していきます。

TOKUMA
JAPAN
COMMUNICATIONS



会社概要/株式状況/株主優待

CORPORATE DATA

会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	株式会社第一興商 (英文表記) DAICHIKOSHOU CO., LTD.
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,716名 グループ 3,266名
主な事業内容	業務用カラオケ事業、カラオケ・飲食店舗事業、 音楽ソフト事業、BGM放送事業、Web事業
連結子会社	国内販売子会社24社、その他国内子会社10社、 その他海外子会社3社

株式状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	57,634,200株
株主数	12,263名

大株主 (2016年3月31日現在)

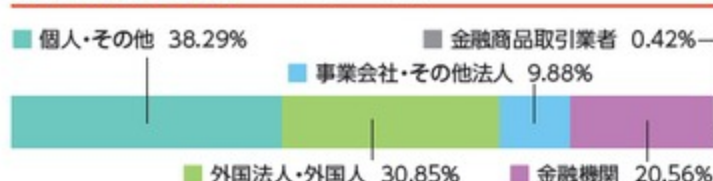
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
保志 忠郊	6,246	10.8
保志 治紀	6,119	10.6
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	4,383	7.6
株式会社・クリエート	2,449	4.3
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	2,243	3.9

※ 持株比率は自己株式3,070株を控除して計算しております。

役員 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	林 三郎	取締役(非常勤)	馬場 勝彦
専務取締役兼上席執行役員	根本 賢一	取締役(社外)	古田 敦也
専務取締役兼上席執行役員	熊谷 達也	取締役(社外)	増田 千佳
専務取締役兼上席執行役員	三富 洋	監査役(社外常勤)	鶴岡 通敏
専務取締役兼上席執行役員	保志 忠郊	監査役(社外常勤)	大塚 信明
常務取締役兼上席執行役員	和田 康孝	監査役(常勤)	高瀬 信行
常務取締役兼上席執行役員	村井 裕一	監査役(社外)	有近 真澄
取締役兼上席執行役員	渡邊 泰人		
取締役兼上席執行役員	竹花 則幸		

所有者別株式分布 (2016年3月31日現在)



株主優待のお知らせ

2016年3月31日最終の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。

所有株式数	年2回発行	
	優待券 ^{※1}	CD交換 ^{※2}
100株以上 1,000株未満	500円券×10枚	1枚
1,000株以上	500円券×25枚	2枚

※1 当社が運営する「ビッグエコー」店舗、[楽園]「ウメ子の家」「ひすゝろ家」などの飲食店などでご利用いただけます。
※2 優待券全額と引換券を条件に、アルバムCDと交換いただけます。

贈呈時期 2016年6月27日より送付開始

有効期間 2016年7月1日～2016年12月31日

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して 臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日
単元株式数	100株

公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (郵便物送付先) (電話照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

第一興商

所在地 〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26
電話 (03) 3280-2151 (大代表)

